

「あ・お・い・く・ま」

校長 原田尚昭

今日は7月19日。令和元年度の第1学期終業式を迎えました。「平成31年4月1日」で始まった今年度は、その4月1日に新しい元号「令和」が発表され、5月1日に新しい時代「令和」が始まりました。私は昭和の生まれですが、皆さんが生まれ、そして育ってきた「平成」という時代がどのような意義を持つのかについて考えつつ、「令和」の時代が私たちにとって如何なる意義を持つこととなるのかを共に見ていきたいと思えます。

時代に「節目」がある様に、私たちの暮らしの中でも日々「節目」があります。特に、1日が終わろうとする時、寝る前に皆さんはその日のことを振り返っているでしょうか。最近は何も流行らないかも知れませんが、自分の文字で「日記を書く」ということをしている人はいるでしょうか。或いは皆さんは、今の時代ですから電子的な機器に書き込んでいるという人もいるかも知れません。いずれにしても、1日の終わりに自分の取った行動やしべった言葉を振り返って、反省をする、或いは自分が頑張ったことを再確認するということを是非とも勧めます。

さて、今日はそういった意味で大事な「節目」の日ですから、この1学期の歩みを振り返ってみると、まず1年生の皆さんは本校に入学してきて4月のオリエンテーション合宿を経験し、6月の山高祭で活躍し、或いはまた中学校とは違った形で学業成績の面で悩みが深くなり、悲喜こもごもの面があったかも知れません。2年生は、中堅学年として、特に部活動で3年生が引退してからは1年生を率いて、今正に新たなチーム作りに勤しんでいることと思えます。高校生活3年間の折り返し地点を通過したわけですから、今後は1年後に必ずやってくる「進路決定」に向けて、それぞれに力をつけて行ってもらいたいと思えます。さて、3年生の諸君、いよいよ暑い夏がやってきました。進学であれ、就職であれ、この夏が勝負の時です。自分がこれまで学んできたこと、経験してきたことを総動員してその準備に当たって下さい。大学受験に向かう人は、まだ信じられないかも知れませんが、受験生なら3年生の夏は10時間から14時間ぐらひは1日に勉強するというのは当たり前のことです。きちんとした計画を立ててしっかり取り組んで下さい。また、就職試験を目指す人は、この夏は履歴書の書き方から就職筆記試験、そして実際の面接練習に何度も取り組むこととなります。その際、先生方から否応なくとても厳しい言葉が浴びせかけられるでしょう。その言葉にいくらでも泣いて、「悔しい」、「なにくそ」、「負けてたまるか」、との思いで更に奮起して下さい。将来、実際の職場に立って、優しい先輩がいるなどと期待してはいけません。厳しい先輩方から厳しい言葉を貰えば、それこそが幸せ、と思うぐらいでないといけません。この夏の就職試験の準備は、将来への備えでもあるのです。先生方も、愛の鞭をどんどん振るって下さるでしょう。とにかく頑張ってください。

そこで、最後に一つおまじないの様な言葉を紹介しておきます。これは、モノマネ芸人として有名なコロケさんの手記から拾ったものですが、お母様が大変立派な方で、家の壁に「あおいくま」と書いた紙を貼っておられた。つまり、「あせるな、おこるな、いばるな、くさるな、まけるな」という言葉の頭文字を集めたもので、「おい、あくま」という場合もあります。これに「へこたれるな」の「へ」を加えて、「あおいくまへ」としても良いでしょう。私たちの人生は、いろんなことに満ち満ちています。いつ如何なる時でも、その心構えとしてこれらの言葉をしっかりと胸に刻んで生きて行けば、必ずや良い方向に道が開かれていくことでしょう。

第1学期終業式という「節目」の日に、皆さんの更なる頑張りとは有意義な夏休みとなることを期待して、式辞とします。